テーマ：私たちがひどく落ち込むような時、どのようにして希望を見出すか？

●ホレイショ・スパフォード
『しずけき河のきしべを過ぎゆくときにも　浮き悩みの荒波を渡りゆくおりにも　心安し　神によりて安し』(讃美歌520)

※ヨブ 1:21
「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

**○絶望の中で見出した希望：苦しむ著者が置かれた三つの場面**

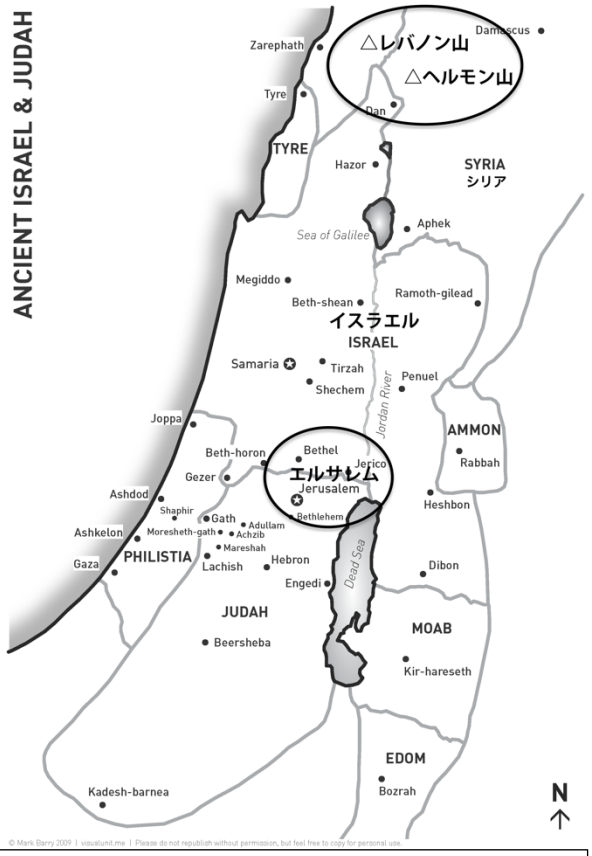
1. **_____中で(1-5)**

※ヨエル 1:20
「野の獣も、あなたにあえぎ求めています。水の流れがかれ、火が荒野の牧草地を焼き尽くしたからです。」

※1 サムエル記 1:15
「ハンナは答えて言った。「いいえ、祭司さま。私は心に悩みのある女でございます。ぶどう酒も、お酒も飲んではおりません。私は主の前に、私の心を注ぎ出していたのです。」

『人生における悲しみのほとんどは、自己が語る代わりに自己に聞き従っているという事実に起因していると気付いたことがありますか？…この詩篇の作者の対処法はどうでしょう。彼は自己が語るのを許さず、彼の方から自己に語りかけ始めています。「わがたましいよ。なぜ、おまえは絶望しているのか」と問いかけるのです。彼のたましいは彼を憂鬱にさせ、押しつぶそうとしていました。そこで彼はきっぱりと、「自己よ、しばらく耳を傾けよ。私がお前に語るから」と宣言するのです。私の言っている意味が分かりますか？』(ロイド・ジョーンズ)

2. _____中で(6-11)




引用：
https://visualunit.files.wordpress.com/2010/03/israel-judah-map.png

※イザヤ 46:9-10
「遠い大昔の事を思い出せ。わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる』と言う。」

3. _____中で(43:1-5)